

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330322072	保育の計画と評価 Plan and Evaluation of Child care	田村 佳世			2	必修	2後期

科目の概要

DP1、3、5に則って、4大精神を実践しながら、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭に不可欠な専門的知識・技能を身に付け、社会的に自立して生きていく上で必要な建学の精神・社会人基礎力・p i s a型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けた保育者の育成を目指す。
 保育における具体的な指導では、10年間の保育所保育士として勤めた経験を活かし、場面指導や子ども理解に関する講義・演習を行います。
 特にこの科目では、保育士・幼稚園教諭の資格免許を生かして子どもたちの学力および社会性・社会力の基礎・基本を育てるための知識及び技術を身に着けるために、教育課程・全体的な計画に対して基本的な姿勢を学び、事例を調べ、環境を通した子どもの遊びや生活の意義について理解します。さらに、発達に応じた保育のねらい及び内容を理解し、指導計画を立案したり、模擬保育を行って、保育の記録と保育実践の評価と反省の意義と書き方を身に着けます。

学修内容	到達目標
① 保育の内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について理解する。 ② 全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法を理解する。 ③ 子ども理解に基づく保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）について、その全体構造を捉え、理解する。	① カリキュラムの基礎理論、保育における計画と評価の意義、子どもの理解に基づく保育の過程の循環による保育の質の向上について基礎知識を獲得している。 ② 保育所保育指針等の社会的背景、保育の目標と計画の基本的考え方、全体的な計画と指導計画の関係性、指導計画（長期的・短期的）の作成、留意点、計画に基づく保育の柔軟な展開について基礎知識を獲得している。 ③ 保育の記録及び省察、保育士及び保育所の自己評価、保育の質向上に向けた改善の取組、生活と発達の連続性を踏まえた保育所児童保育要録について基礎知識を獲得している。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	予習課題・発表準備における該当課題について積極的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	子どもの発達・援助等を考えるときに、固定概念にとらわれることなく既習科目等様々な観点から考えることができる。
チームで働く力	発信力	聞き手に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで人の意見をうなずきながら聞き、思いを受け止めて、そのうえで自分の意見を述べ、発展的なコミュニケーションができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：『教育・保育課程論』谷田貝公昭・石橋哲成（監修） 一藝社
 参考文献：『幼稚園教育要領解説』『保育所保育指針解説書』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「保育の計画と評価」は「保育の内容・方法に関する科目」で、「乳児保育Ⅱ」等から「保育内容総論」に関連する科目である。
 資格との関連：保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
・保育者を目指す学生として相応しい服装、態度、言葉遣いで授業に参加すること。 ・課題等は期限を守って提出すること。 ・無断欠席をしないこと。欠席時は必ずメールにてその旨を担当教員に連絡を入れる。 ・授業の内容は状況に応じて順序が入れ替わることがあるため、classroomの授業資料、連絡をよく確認しておくこと。	・保育者を目指す学生として相応しい服装、態度、言葉遣いで授業に参加すること。 ・課題等は期限を守って提出すること。 ・無断欠席をしないこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓		筆記試験 （獲得）保育の内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価についての理解（40%） （活用）全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法の理解。（40%） （解決）子どもの理解に基づく保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）について、その全体構造を捉えた理解（20%）
				②	✓		
				③	✓		
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
		レポート	20	①	✓		（獲得）課題テーマに関する授業内容の理解（20%） （活用）課題テーマに関する発表内容の理解（40%） （解決）課題テーマに関する学びの活用に関する提案（40%）
				②	✓		
				③	✓		
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①			（獲得）行事を活かした保育の理解（20%） （活用）行事を活かした保育の具体的な実践方法理解（60%） （解決）行事を活かした保育の自己課題と改善提案（20%）
				②			
				③	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		（主体性）予習課題・発表準備における該当課題について積極的に取り組むことができる。 （実行力）目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。 （課題発見力）子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （創造力）子どもの発達・援助等を考えるときに、固定概念にとらわれることなく既習科目等様々な観点から考えることができる。 （発信力）聞き手に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。 （傾聴力）グループワークで人の意見をうなずきながら聞き、思いを受け止めて、そのうえで自分の意見を述べ、発展的なコミュニケーションができる。 （規律性）授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。	
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S (秀) - 総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を的確に理解したり、教員に確認しながら計画的かつ意欲的に学びを深めることができる。 - 発表に関しては仲間と分担、協力して意欲的かつ具体的に準備、発表、学びの共有ができる。 - レポートではテーマに沿った内容を、自分の言葉で具体的に表現でき、授業内容を踏まえた新たな提案ができる。 A (優) - 総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を理解したり、教員に確認しながら計画的かつ意欲的に学ぶことができる。 - 発表に関しては仲間と分担、協力して準備、発表、学びの共有ができる。 - レポートではテーマに沿った内容を、自分の言葉で表現でき、授業内容を踏まえた新たな提案ができる。	B (良) - 総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を理解したり、教員に確認しながら学ぶことができる。 - 発表に関しては自分の担当内容を理解し意欲的に発表ができる。 - レポートではテーマに沿った内容を、授業内容を踏まえてまとめることができる。 C (可) - 総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を参考にしたり、教員に確認しながら学ぶことができる。 - 発表に関しては自分の担当内容を理解し発表ができる。 - レポートではテーマに沿った内容をまとめることができる。 ・その他：Dの再評価（再提出含む）

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	「オリエンテーション」 ・保育のねらいと計画について	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	保育のねらいと計画の基本について理解できている。	（予習）テキスト第1章を読んで「教育課程・保育課程」について理解しておく。 （復習）「保育のねらいと計画」についての要点をノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	「保育計画の種類と特徴」 ・保育計画の種類と特徴について学び、関係性を学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・保育計画の種類と特徴について学び、違いや共通点について理解している。	（予習）テキスト第2章を読んで「指導計画の種類」について理解しておく。 （復習）「指導計画の種類と特徴」についての要点をノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	「指導計画作成の基本」 ・指導計画の作成手順と幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園の指導計画の特徴について学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・指導計画作成の手順について理解している。 ・幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園の指導計画の共通点と違いについて理解している。	（予習）テキスト第3章読んで「指導計画の手順」について理解しておく。 （復習）「各園の指導計画の特徴」についての要点をノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	「子ども理解と保育の計画」 ・子ども理解の視点と指導計画における環境構成の重要性について学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・子ども理解の視点について知り、指導計画における環境構成の役割について理解している。	（予習）テキスト第4章を読んで「子ども理解の視点」について理解しておく。 （復習）「子ども理解と環境構成」についての要点をノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	「0歳児の保育の計画」 ・0歳児の発達を理解し、保育の計画の特徴を学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・0歳児の発達過程、発達課題を理解し、保育の3つの視点を踏まえた保育のねらいを理解している。	（予習）テキスト第8章を読んで「0歳児の指導計画」について理解しておく。 （復習）「0歳児の保育者の3つの視点」についての要点をノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	「1，2歳児の保育の計画」 ・1歳以上3歳未満児の発達理解、保育の計画の特徴を学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・1，2歳児の発達過程、発達課題を理解し、1歳以上3歳未満児の保育の5領域を踏まえた保育のねらいを理解している。	（予習）テキスト第9章を読んで「1，2歳児の指導計画」について理解しておく。 （復習）「3歳児へのつながり」についての要点をノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	「3歳以上児の保育の計画」 ・3，4，5歳児の発達理解、保育の計画の特徴を学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・3，4，5歳児の発達過程、発達課題を理解し、3歳以上児の保育の5領域を踏まえた保育のねらいを理解している。	（予習）テキスト第10章を読んで「3，4，5歳児の指導計画」について理解しておく。 （復習）「3，4，5歳児の指導計画の特徴」についての要点をノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	「さまざまな保育の計画」 ・長時間保育、異年齢保育などの保育形態と保育の計画の特徴について学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・長時間保育、異年齢保育などの保育形態と保育の計画の特徴について理解している。	（予習）テキスト第13章を読んで「さまざまな保育の計画」について理解しておく。 （復習）「さまざまな保育形態の特徴」についての要点をノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	「保育の評価と保育の質の向上」 ・PDCAサイクルを活かした保育の計画と評価方法、保育の質の向上について学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・PDCAサイクルを理解している。 ・保育の質の向上を意識した評価の書き方を理解している。	（予習）テキスト第15章を読んで「保育の質」について理解しておく。 （復習）「評価の書き方」についての要点をノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「行事を活かした保育1」 ・保育における行事の意味と計画の特徴を学ぶ。	講義 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・保育における行事の種類や意味を理解している。 ・行事の保育計画の特徴を理解している。	（予習）テキスト第12章を読んで「保育の行事」について理解しておく。 （復習）「行事の指導計画」についての要点をノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「行事を活かした保育2」 ・模擬保育に向けた指導計画の作成と発表準備	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・模擬保育に向けた指導計画の作成と発表準備が計画的にできる。	（予習）保育の行事の由来について調べてノートにまとめる。 （復習）調べた行事の指導計画についての配慮点をノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	「行事を活かした保育3」 ・模擬保育に向けた製作物の作成と発表準備	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・模擬保育に向けた製作物の作成と発表準備が計画的にできる。	（予習）指導計画を完成させる。 （復習）模擬保育の発表準備を行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	「行事を活かした保育4」 ・行事に向けた折り紙製作の発表。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・発表準備ができていて、目的に沿って発表ができる。	（予習）製作物を完成させ、発表準備を行う。 （復習）発表の反省をノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	「行事を活かした保育5」 ・行事に向けた折り紙製作の発表と振り返り。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	・行事に向けた折り紙製作の発表をみて、様々な行事、保育方法が理解できる。	（予習）発表の改善点をまとめる。 （復習）発表をみて学んだことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	「行事を活かした保育6」 ・classroomに提示される資料を視聴し、子どもが主体の保育について保育者の援助を学ぶ。	オンデマンド classroomに提示される資料を視聴し、行事に向けた折り紙製作の指導計画を作成。	・授業資料を参考に課題に取り組み、期限までに提出できる。	（予習）発表の振り返りをまとめる。 （復習）授業資料をノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力